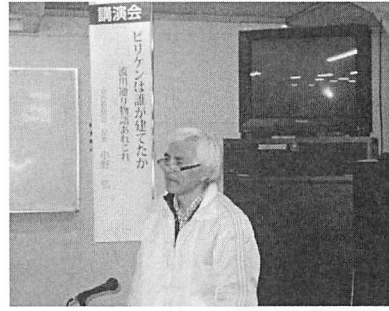


# 講演会講師論稿

## 講演会報告

### 研 修 部



小野 弘氏

平成二十二年度の春季講演会は、三月七日（日）に、今日新聞社の記者で「懐かしの別府物語」を担当している小野弘氏による講演が行われました。演題は「ビリケン是谁が建てたか―昔の流川通りをめぐる物語―」でビリケンの歴史のみならず、流川通りの昔を知ることができました。写真入りの論稿を頂いていますので掲載します。

総会時の記念講演会は、五月十五日（土）に、日本文理大学准教授の白土康代先生により「ブランゲ文庫に見る占領期の別府」の演題での講演が行われました。占領下の時代のすべての出版物、検閲文書、ポスターなどを収集したコレクションの中から別府に関係するものを中心に紹介していただきました。次ページ以下に、論稿を掲載します。

秋季講演会は、十月二日（土）に別府大学文学部の上野淳也先生にお願いいたしました。十一月四日に予定した市外史跡探訪地の「吉野ヶ里遺跡」の事前学習にもなる「弥生時代から古墳時代へ―吉野ヶ里遺跡と中九州―」の演題で講演いただきました。吉野ヶ里遺跡関連年表や出土品の分布、遺跡の全体像などを詳しく知ることができ、史跡探訪の意義を深めることができました。本年も春季、記念、秋季と三度の講演会を行うことができましたことにお礼申し上げます。



上野 淳也氏



白土 康代氏